

県内の少年非行(令和2年5月末)

兵庫県警察本部少年課

注:数値は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

令和2年5月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は718人で前年同期(804人)に比べて86人(10.7%)減少している。

不良行為少年は5,388人で、前年同期(5,587人)に比べて199人(3.6%)減少している。

区分	年別	令和2年	令和元年	増減	
		5月末	5月末	人員	率(%)
非 行 少 年	犯罪少年	400	413	-13	-3.1
	触法少年	150	197	-47	-23.9
	計	550	610	-60	-9.8
	特別法犯	85	87	-2	-2.3
	触法少年	31	37	-6	-16.2
	計	116	124	-8	-6.5
	ぐ犯少年	52	70	-18	-25.7
合計	718	804	-86	-10.7	
不良行為少年		5,388	5,587	-199	-3.6

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	令和2年	令和元年	増減	
		5月末	5月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
刑法犯少年		550	610	-60	-9.8
凶悪犯		16	2	14	700.0
粗暴犯		136	121	15	12.4
窃盗犯		281	353	-72	-20.4
知能犯		13	7	6	85.7
風俗犯		14	10	4	40.0
その他		90	117	-27	-23.1
うち占離		38	54	-16	-29.6

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	令和2年	令和元年	増減	
		5月末	5月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
総数		550	610	-60	-9.8
未就学		2		2	
小学生		80	111	-31	-27.9
中学生		169	201	-32	-15.9
高校生		158	178	-20	-11.2
その他学生		31	18	13	72.2
有職		79	66	13	19.7
無職		31	36	-5	-13.9

4 初発型非行の状況

区分	年別	令和2年	令和元年	増減	
		5月末	5月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
総数		259	336	-77	-22.9
万引き		159	197	-38	-19.3
オートバイ盗		20	29	-9	-31.0
自転車盗		42	56	-14	-25.0
占有離脱物横領		38	54	-16	-29.6
刑法犯少年に占める率(%)		47.1	55.1	-8.0	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の12.6パーセント(前年同期比-0.7ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の51.1パーセントを占め、次いで粗暴犯の24.7パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(3,136人)と深夜はいかい(1,664人)が全体の89.1パーセントを占めている。